

満蒙の地「^{ほうまさ}方正」のうた

開拓団逃避行の歌

国は違えど同じ犠牲者



作詞構成 千秋昌弘

作曲 森 二三

はじめに

ナレーション

第二次世界大戦では、8000万人余の人が亡くなりました。ホロコーストで570万人、中国人約2000万人、日本人約300万人、

満洲で戦争中亡くなった日本人は20万人、うち開拓団の逃避行で亡くなった人は8万人、引き上げ直後の病死、疲労死が1万人、合わせて9万人が命を奪われました。これは広島・長崎21万人、沖縄戦19万人、東京大空襲97000人で、旧満洲や、開拓団で亡くなった日本人は、これらに匹敵する多くの犠牲者でありました。

開拓団の総ては、日本政府に捨てられ、満洲国政府に捨てられ、関東軍に捨てられてきました。そのことは何故か今日まで日本政府も国連も世界世論も取り上げず今日に至っています。しかし非業の死を遂げた事実は、消すことのできない冷酷な事実であります。

中国東北部満洲では、1945年9月8日ソ連軍の参戦以降、関東軍からも見放され、敵の攻撃のさなかに、何の武器も持たぬ、女性と年老いた老人、子供達が敵前に放り出されたのです。終戦すら知らされず、飢えや、零下35度の寒さ、疲労、疾病で命を落とし、日本へ、故郷へ帰りつきたい一心で死の彷徨、逃避行は続いたのです。

ソ連軍による爆撃や強姦、現地匪賊の略奪、暴行。

日本軍が侵略戦争で行ってきたことが、そっくりそのまま、何の罪もない満蒙開拓団の逃避行の人々に押し寄せてきたのです。

過酷な逃避行を生き抜いた人たちも、80歳、90歳になって、今語らねば、と、辛い、酷いあの日々を、後世に語り継いでくれています。

今、歴史の事実を、事実として受け止め、知らされて来なかった、事実を受け止め、ここから、今から、出発していこうではありませんか。

第一章：開拓団逃避行の歌

(BGM1)

日清日露戦争のあと、日本は朝鮮を併合し、1931年関東軍が引き起こした満洲事変から中国侵略のため、翌32年には中国東北部に満洲国を作り、国策として貧しい日本の農山村から1100の開拓団22万人余に加え、8万人余の満蒙開拓青少年義勇隊が満洲の地に送り込まれました。

終戦直前の8月9日以降、開拓団は、ソ連の参戦により、爆撃、略奪、暴行、強姦、飢えと寒さ、伝染病にさいな苛まされ、終戦も知らされず、冬の満洲でバタバタと命を落とす、死の彷徨、逃避行を続けました。

ハルピン郊外、こくりゅうこうしょうほうまさ黒竜江省方正でも、命がけの逃避行が続いていました。

M-1 方正はいくさを物語る（開拓団逃避行の歌）

見渡すばかりの
トウモロコシ
地平線に広がって
過去のいくさを物語る

^{ほうまさ}
ここ方正から
ハルピン目指す
開拓団の
逃避行

子ども
年寄り
妊婦も混じり
ハルピン目指す

飢えと寒さに
乳飲み子は死んだ
道端に穴を掘り
やむなくわが子

^{ほうむ}
葬った

生きておくれと
現地に子どもを預け
逃避行は続く

葬る穴は
日に日に深くなり
ハルピン
着いた

第2章 残留妻と子供たち

(BGM2)

やっと辿り着いたハルピン収容所には 3500 人余の日本人がいました。

飢えと零下 35 度の寒さで、翌春^{よくはる}までに 2000 人余が死んでいきました。

このままでは、家族全員が死んでしまうと、自分自身の身を中国人に売り、必死に生きる残留妻、その間に生まれ、中国人として育つ子供たち

M-2 お母さん、会いたいです

お母さん、
会いたいです
逃避行の末に
家族の命と
引き換えに
身売りした母
その間に生まれた私
母は籍に入れてもらえず
それでもたくさんの子を産みました。
父は「日本鬼子」(リーベンクイズ) と叫び
母の里帰りに
私だけは手放さず
母と会えなくなりました
私は 7 人目の末娘
私にとっては
かけがえのない両親
あの戦争が家族を引き裂いてしまいました
日本と中国が仲良くなって下さい
お母さんに会いたい
オカアサン
会いたいです

第3章：国は違えど同じ犠牲者

(BGM3)

満蒙開拓団の逃避行では、引き揚げ直後の疲労死を含め9万人、3人に一人が命を落としました。

現地に残った残留妻や残留孤児の苦しみは、今も完全に解決はされていません。

日本に帰国した家族も、苦労が絶えませんでした。

集団自決した開拓団で、奇跡的に生き残った女性は、日中国交正常化後、訪中団の一員と

ほうまさ

して、方正の日本人公墓を訪れ、祈りを捧げました。

M-3 方正の青い空（国は違えど同じ犠牲者）

満蒙の小さな丘

赤いカンナとヒマワリが

日本人公墓

飾ってる

敗戦直前

軍隊は逃げ

開拓団は逃避行

飢えと寒さに

命を落とす

国は違えど同じ人間

敵味方なく

みな犠牲者

あのいくさ

もう

繰り返すまい

方正の青い空

地平線に連なって

平和の風よ

吹き渡たれ

第4章 日本人公墓

(BGM4)

方正収容所でも1946年春までに5000人余のうち3000人余が命を落としました。

野ざらしにされた遺骨は、方正地区の残留婦人によって発見され、「ここで死んだ日本人もまた侵略戦争の犠牲者である」と、中国政府の手によって方正地区日本人公墓として1963年に建立され、4500体の遺骨が埋葬されました。大陸で唯一の日本人公墓であり、日中友好交流の象徴であり、懸け橋でもあるのです。

M-4 日本人公墓

方正は
おだやかに
迎え入れてくれた

養父母の墓に
掌を合わせて
敵の子を育てた
広い心に
ありがとう
掌を合わせて

中国が建てた
方正の
日本人公墓は
話しかける

歴史から消すことなく
なぜここに眠っているのか
いつまでも
忘れないで
忘れないでください

M-5 新しい時代

新しい時代の
扉が開く
中国も日本、
朝鮮もロシアも。
アメリカもどの国も
平和の歌を
歌いだす

青い空. 青い海
青い地球は
みんなのもの
いくさの歴史乗り越えて
友好の輪が
歌いだす

手をつなごう
笑顔交わそう
世界中のすべての人と
揺るがぬ平和
ともにつくろう

今
新しい時代が
歌いだす